

葬送ワークショップ報告書（令和5年11月23日開催）

1. ワークショップの概要

- ・ 目的 : 火葬場や墓地の「持続可能な運営」に向けて、現状や課題を市民に知っていただくとともに、対応策や市民自身の葬送に対する意識、ニーズ等について意見をうかがうために実施した。
- ・ 対象者 : 市内在住の方
- ・ 概要 : 里塚斎場及び里塚霊園を視察の上、別会場にてワークショップを実施した。
なお、調査日は斎場休場日である友引のうち、市民が参加しやすい休日（11月23日・勤労感謝の日）に設定し、同日の午前（9:00～12:30）と午後（13:00～16:30）の2回実施した。

2. 公募・参加者の選定方法等

（1） 募集方法

- ・ 募集チラシ兼申込用紙を 2,000 部作成し、公共施設に配架
- ・ 札幌市公式 WEB サイトに掲載
- ・ 広報さっぽろ 10 月号のイベント紹介ページに掲載

■ 募集チラシの配架先と配布数

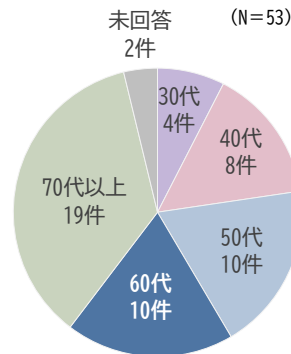
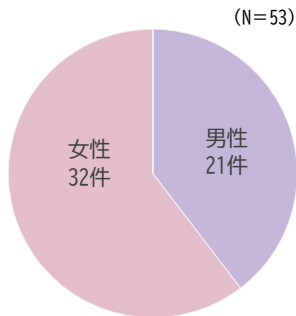
	箇所	部数	合計部数
区役所	10	20	200
まちづくりセンター	87	5	435
区民センター	10	50	500
地区センター	24	10	240
出張所	2	10	20
コミュニティセンター	2	10	20
月寒公民館	1	10	10
大通情報ステーション	1	100	100
市政刊行物コーナー	1	20	20

（2） 応募受付期間・方法

- ・ 令和5年10月2日（月）～10月31日（火）
- ・ 電話、FAX、メールフォームで応募を受け付けた。

(3) 参加者の選定及び参加人数・属性

- ・応募者 151 名の中から抽選により 68 名を選出した。
- ・選出者のうち、実際に参加した方は午前の部 27 名、午後の部 26 名の計 53 名であった。
- ・参加者の性別では「女性」の参加者が 6 割を超えた。
- ・年代では「30～50 代」が 4 割、「60 代以上」が 5 割となり、比較的若い層の参加者が多かった。



(4) 公募ツール

■公募チラシ (A4、カラー両面)

施設見学 & グループディスカッション

葬送

ワークショップ

～火葬場・墓地のあり方を考える～

札幌市には2つの火葬場と3つの市営霊園があります。今後多くの方が寿命を迎えられる「多死社会」が訪れると、火葬場の設備や葬儀の増加などの問題が深刻化する懸念があります。また、葬送に関するニーズの多様化や葬送に対する関心の高まりに対応していく必要があります。このような状況の中で、持続可能な運営方法の検討に向け、ぜひ市民の皆さまの声を聞かせてください。

2023年11月23日(木・祝)

午前部 9:00～12:30 (集合時間) 8:45
午後部 13:00～16:30 (集合時間) 12:45
※午前と午後の両部内容は全く同じものです。どちらか一方にご参加ください。

集合場所 大谷地バスターミナル1番のりば
(厚別区大谷地東2丁目2 地下鉄東豊線大谷地駅直結)

定員 各部 30名 ※応募多数の場合は抽選となります。

参加条件 札幌市民であること **参加料** 無料

選考 ご参加いただいた方に交通費・謝礼として2,000円分のギフトカードを差し上げます

【ご参加にあたって】
※必ず大谷地バスターミナルに集合のうえ、貸し切りバスにご乗ってください。
※車中で大聖堂・霊園についてご説明のうえ、施設見学をさせていただきます。

プログラム

- 集合
- 大谷地バスターミナル
- ご説明(バス内)
- 「札幌市の火葬場・霊園の現状と課題」
- 施設見学
- 霊園霊堂(火葬場)
- 見学(バス乗車中)
- 霊園霊堂(墓地)
- グループディスカッション
- 聖域・墓しが丘地区センター(火葬場・市営霊園の運営や葬送に関して話すこと)
- 決着・解散
- 大谷地バスターミナル

お申込方法については裏面をご確認ください

【運営・企画】株式会社ノーザンクロス(担当: 赤上) 【主催】札幌市保健福祉局福祉施設管理課(担当: 柳田)

葬送ワークショップ 参加申込書

～火葬場・墓地のあり方を考える～

申込方法 WEBフォーム、または下記の申込情報に必要事項をご記入のうえ、FAX・メール・郵送のいずれかでお申し込みください

インターネットから直接入力する場合

WEBフォーム(株式会社ノーザンクロスのwebサイトにアクセスします)
<https://www.northerncross.co.jp/kasoba-bochi/index.html>

参加申込書を送付する場合

※下記のいずれかの宛先まで送付
※送料・通信料等は申込書代金となります。ご了承ください。

FAX 011-232-4918

メール kasoba-bochi@northerncross.co.jp

郵送 〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3-1
第36ビル7階(株)ノーザンクロス内

申込締切日 2023年10月31日(火)

※郵送/当日送付有効
※ご参加の可否については、11月9日(木)までに電話またはmailにてご連絡申し上げます。

返信・お問い合わせ先
株式会社ノーザンクロス
TEL 011-232-3661
担当: 赤上
受付時間: 平日9時～17時

申込情報

参加者1	(ふりがな) お名前 年代 [○をつけてください] 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上 お住まいの区 [○をつけてください] 中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲
参加者2	(ふりがな) お名前 年代 [○をつけてください] 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上 お住まいの区 [○をつけてください] 中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲
参加希望時間帯	参加希望時間 [いずれかに○をつけてください] 午前・午後・どちらでもよい
代表者様ご連絡先	平日中にご連絡がとれる電話番号・メールアドレス等をご記入ください

※この個人情報等は本募集の連絡以外で使用するものではありません。

■広報さっぽろ 2023 年 10 月号

11/23(祝)
葬送ワークショップ



葬送は元気なうちから自分事として考えることが大切。里塚斎場・霊園を見学後、火葬場や墓地の持続可能な運営について話し合います。参加者にはQUOカード2,000円分を進呈！

日時 11/23(祝)9時～12時30分、13時～16時30分
会場 里塚・美しが丘地区センター(清田区里塚2の5)ほか。全員、大谷地バスターミナルにて集合・解散。各施設へは貸し切りバスで移動
定員・費用 各30人。無料
申込 はがき、ファクス(232-4918)、Eメール(kasoba-bochi@northerncross.co.jp)、ホームページ。上欄必要事項を記入し、10/31(火)(消印有効)までに株式会社ノーザンクロス(〒060-0041中央区大通東2第36桂和ビル内)へ。抽選
詳細 保健所施設管理課 ☎622-5182



■札幌市公式 WEB サイトへの掲載

ホーム > 健康・福祉・子育て > 生活衛生 > 葬送・火葬場 > 葬送ワークショップ～火葬場・墓地のあり方を考える

ツイートする LINEで見る YouTube B1 更新日: 2023年11月1日

葬送ワークショップ～火葬場・墓地のあり方を考える

本ワークショップは応募締め切りしました。

札幌市には2つの火葬場と3つの市営霊園があります。

今後多くの方が寿命を迎えられる「多死社会」が訪れると、「火葬場が混雑して火葬まで何日も待たされる」「跡継ぎがないためお墓が放置される」といった問題が深刻化する懸念があります。また、火葬場や市営霊園の施設の老朽化に対応するため、修繕や建替も行っていかなければならず、これらの課題を解決するためには、安定した財源の確保も必要となります。さらには、葬送に関するニーズの多様化や終活に対する関心の高まりへの対応も求められています。

このような状況の中で、持続可能な運営方法の検討に向け、市民の皆さまから幅広くご意見をいただくための「施設見学会(里塚斎場・里塚霊園)」及び「グループディスカッション」を開催することといたしました。

施設見学会では職員の見学を聞きながら見学することができ、これを機に葬送への関心を深めていただくとともに、皆さまのご意見をお聞かせください。

※参加者には、交通費・謝礼として2,000円分のQUOカードを進呈いたします。

開催日時

内容は1回完結型です。参加できるのはいずれか1回のみとなります。

【1回目】令和5年11月23日(木曜日・祝日) 9時00分～12時15分
【2回目】令和5年11月23日(木曜日・祝日) 13時00分～16時15分

ワークショップ内容

各回とも以下の流れでワークショップを行います。

- 地下鉄東西線大谷地駅バスターミナル集合(集合後、貸し切りバスで移動)
- 里塚斎場見学
- 里塚霊園見学
- グループディスカッション(「火葬場・市営霊園の運営や葬送に関して話すこと」など)
- 大谷地駅バスターミナルに貸し切りバスで移動し、解散

※必ず大谷地バスターミナルに集合のうえ、貸し切りバスにご乗車ください。

※車中で火葬場・霊園についてご説明のうえ、施設見学をしていただきます。

応募方法

3. 当日のプログラム

(1) プログラム概要

1) 施設見学会 (約 65 分)

- ・地下鉄大谷地駅に集合し、貸し切りバスに乗車
- ・バス車内で札幌市職員による札幌市の葬送の現況・課題の説明
- ・里塚斎場の施設見学を行いながら、利用状況や課題について説明
- ・里塚霊園の車窓見学を行い、霊園全般の現況や無縁墓の状況について説明
(斎場及び霊園の説明は、職務を担当する札幌市の職員が実施した)

2) 葬送ワークショップ (グループディスカッション) (約 120 分)

- ・「①施設見学会」の終了後、会場である「里塚・美しが丘地区センター 2 階 視聴覚室 (里塚 2 条 5 丁目 1-1)」にバスで移動して実施。
- ・各回約 30 名の参加者を 5~6 人の少人数のグループに分け、ワークショップ形式でグループディスカッションを行った。

(2) タイムスケジュール

【午前の部】

9:00	15分	バス移動→葬送に関する概要説明 (車中)
9:15	40分	□里塚斎場 (火葬場) の施設見学 □里塚霊園 (墓地) の車窓見学
9:55	10分	バス移動→里塚美しが丘地区センター (グループ案内、トイレ等)
10:05	10分	目的と今日の進め方
10:15	90分	グループディスカッション「フリップカードで話そう！」
11:45	15分	グループ発表 「火葬場」「墓地」それぞれ一番意見交換が盛り上がった内容
12:00	5分	まとめ
12:05	10分	アンケート・謝金手続き
12:15	15分	バス移動→12:30大谷地バスターミナル到着、解散

【午後の部】

13:00	15分	バス移動→葬送に関する概要説明 (車中)
13:15	40分	□里塚斎場 (火葬場) の施設見学 □里塚霊園 (墓地) の車窓見学
13:55	10分	バス移動→里塚美しが丘地区センター (グループ案内、トイレ等)
14:05	10分	目的と今日の進め方
14:15	90分	グループディスカッション「フリップカードで話そう！」
15:45	15分	グループ発表 「火葬場」「墓地」それぞれ一番意見交換が盛り上がった内容
16:00	5分	まとめ
16:05	10分	アンケート・謝金手続き
16:15	15分	バス移動→16:30大谷地バスターミナル到着、解散

(3) グループディスカッションの進め方

- ・参加者を5人前後の5グループに分け、各グループにファシリテーターを1名ずつ配置し、グループごとに実施。
- ・ファシリテーターは「フリップ・カード」を見せながら、「お題（テーマ）」について質問。参加者一人ひとりが自分の意見を付箋に書き出した。
- ・グループ内で自分の書き出した付箋を一人ずつ貼り出しながら発表し、全員で意見交換をしながら、さらに多くの意見が出るように進行を行った。
- ・最後にグループ発表を行い、会場全体で意見を共有した。



1) 当日のテーマ

№	テーマ	内容
1	葬送の印象やイメージ	①【葬送経験者】葬送で困った、大変だったこと ②【葬送未経験者】葬送について心配していること
2	火葬場の施設、設備、サービス	改善が必要だと思うこと（改善の時期）
3	火葬料の受益者負担	①賛成／その金額や理由、アイデアなど ②反対／その理由 ③その他葬送に関する使用料へのアイデア
	【テーマ3の事例紹介】	火葬料の受益者負担導入事例
4	火葬場混雑の解消アイデア	①友引火葬の実施賛成・反対とその理由 ②早朝午後の //
5	墓・納骨堂の所感 理想の葬送	①【墓地・納骨堂利用者】満足度、要望 ②【墓地・納骨堂未利用者】イメージ、心配していること ③あなたの理想の葬送
	【テーマ5の事例紹介】	墓地、納骨の新たなスタイル
6	無縁墓対策や 整理後の活用アイデア	①無縁墓増加を防ぐ方法 ②無縁墓跡地の活用アイデア
7	終活実施状況と 終活促進アイデア	①終活実施状況 ②終活に取り組むやすくするためのアイデア
	【テーマ6の事例紹介】	終活サポートの事例

2) グループで示した「フリップ・カード」

葬送

ワークショップ

フリップカード

お題< 1 >

自己紹介 & 「葬送」について

- ①お名前と居住区
- ②「葬送」で

【経験あり】困った・大変だったこと
 【経験なし】心配していること

1

お題< 2 >

火葬場の施設や設備・サービス

- ①今の施設で改善してほしいこと
- ②新しく建てる時に希望したいこと

例

子どもの遊び場

葬儀場一体型

フリースペース
充実

など²

お題< 3 >

火葬の市民利用料の受益者負担

- ①受益者負担をどう思いますか
- ②【賛成】負担額は？
【反対】反対の理由は？

その他アイデア→ピンクの付箋へ

<次ページに事例あり>

3

受益者負担の事例				
地域	火葬 (市内)	火葬 (市外)	控室 (市内)	控室 (市外)
仙台市	9,000円	27,200円	5,000円 (2h)	15,300円 (2h)
福岡市	20,000円	70,000円	5,000円 (2h)	5,000円 (2h)
苫小牧市	13,000円	26,000円	無料	無料
旭川市	12,000円	24,000円	5,100円	5,100円
札幌市	0円	49,000円	23,000円	23,000円

お題< 4 >

火葬場の混雑軽減・解消に向けて

- ①友引の火葬・葬儀の実施をどう思いますか(本当は縁起の悪い日ではありませんが…)
- ②早朝・午後の火葬実施をどう思いますか(お昼の練り上げ法要はどうするか)

その他アイデア

5

お題<5>

あなたが利用しているお墓や これからのお墓・葬送について

- ①あなたは墓地を利用していますか
- ②【利用している方】良い点、不満な点などを教えてください
【利用していない方】墓地・納骨堂へのイメージや不明点を教えてください
- ③あなたの理想のお墓や葬送を教えてください
その他アイデア <次ページに事例あり>

多様な葬送スタイル

磯子霊園シェア型「空そら」



出典：同霊園公式ホームページ

期限付きレンタル墓地で個別供養ののち、期限が過ぎると、永代供養の樹木葬合葬墓に合祀される
(30年で75万円～)

合葬墓 札幌市営岸霊園合同納骨塚



北摂の樹木葬 木もれ日と星の里（ドイツ式）



出典：同霊園公式ホームページ

木を墓標として扱い、その根元に合葬する
(1体30万円)
区画ごとに占有するタイプは1区画150万円前後
契約期間は100年間その後そのまま

海洋散骨 山散骨（居住・遊業・航路に影響の無い場所） 山散骨（自己所有が業者所有）



出典：イオンのお葬式

お題<6>

無縁墓の増加を防ぐ方法と その跡地を活かす方法

- ①無縁墓を増やさないためのアイデア
- ②無縁墓を整理できたときの活用アイデア

例

墓じまい補助金 定期的に契約更新する 新区画を販売 公園などに活用

お題<7>

あなたは終活していますか？

- ①あなたの終活実施状況
- ②終活に取り組みやすくするアイデア

<次ページから2枚、事例あり>

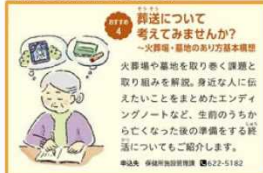
札幌市の終活サポート

「わたしの生き方セミナー
いつまでも自分らしく～終活2023」



札幌市社会福祉協議会が毎月1回様々なテーマで実施

札幌市出前講座「葬送について考えてみませんか？」



北海道法務局・司法書士会



自分自身に何かあったときに備えて、御家族が様々な判断や手続を進める際に必要な情報を残すためのノート

10

自治体の先進事例

東京都豊島区終活あんしんセンター（都内初）



（単身世帯）横須賀市エンディングプランサポート事業（神奈川県横須賀市）



民間サービス

終活紹介サービス（日本郵便）



お墓、葬儀プラン、相続、介護施設、お一人様の終活、生前・遺品整理、自分史作成等の案内・紹介サービス

11

(4) 当日の様子

- ・当日は HTB（北海道テレビ）、HBC（北海道放送）の取材が行われ、当日夕方と翌日朝のニュースで放送された。HTB では Youtube にて概要を公開中である(R6.10 月末現在)
- ・HTB（北海道テレビ）

増える無縁墓「火葬場や墓の実態もっと知って」葬送のあり方考えるワークショップに市民60人が参加 札幌 - YouTube (<https://www.youtube.com/watch?v=0Qxwp4fPMzE>)



4. グループディスカッションの結果

本項では、寄せられた意見を分類・整理し、意見の重要ポイント（■）と全意見の概要を「総まとめ」としてとりまとめた。全意見の一覧は章末に掲載した。

* 意見件数と分類・整理後の件数は分類重複の整理・編集を行っているため、合致しない。

（1）葬送の所感

参加者のうち、おおむね8割が葬送経験者であった。葬送経験者からは53件、葬送未経験者からは15件の意見が寄せられた。

1) 葬送経験者／葬送で困ったこと、大変だったこと

テーマ1 葬送の所感 / 葬送経験者の「葬送の困りごと」

- 1) 火葬の待機時間が長い
- 2) 今後の自分の葬送や墓地管理が不安
- 3) 葬送の決まり事や、死後の手続きがわかりにくい
- 4) 慌ただしかった、火葬のために急かされた
- 5) 葬儀費用がかさんだ、葬儀社の決定に時間がかかった
- 6) 親族間で意見がわかれて困った

など

< 葬送経験者の「葬送の困りごと」／総まとめ（54件） >

分類	件	主な意見（要旨）
火葬の待機時間が長い	18	■ 待機時間が長い、バスや車で待機して疲れた ■ 友引休場日のあとの待機時間は特に長い ■ 友引を挟んだため、自宅の安置期間が長くなり不安だった ■ 冬季の待機時間はつらい ■ 火葬の待機でロビーが混雑し、座れない。うるさくて落ち着かない
将来の葬送への不安	9	■ 子世帯が遠方にいるため葬送が無事終わるか不安 ■ 一人で亡くなること、死後の後始末が無事終わるか不安 ■ 墓じまいを終えたが、その後をどうするか ■ 地方にあるお墓をどうするか ■ 少子化により、葬送ができなくなるのではないかと心配 ■ 火葬による環境汚染（二酸化炭素発生量、大気汚染）が心配
わからないことが多くて大変だった	6	■ 段取りや決まり事がわからなかった（宗派、お坊さん、お布施、戒名等） ■ 死亡後の手続きが多く、わかりにくい ■ 斎場・葬儀場の予約方法がわかりにくかった ■ お墓を開けるのが大変 ■ 繰り上げ法要の飲食準備が大変
慌ただしい・急かされた	5	■ 朝早い葬儀で余裕がない ■ 考える時間がなく、どうしていたのか覚えていない ■ 葬儀や収骨を、火葬のために急かされた

特に困らなかった	5	■葬儀社におまかせで問題なかった ■コロナ禍で葬儀が簡素になった ■親族が準備してくれた
葬儀社と費用	4	■葬儀社のすすめに従いがちになり、お金が掛かりすぎた ■急に亡くなったので、葬儀社の決定に時間がかかった
親族との関係性	4	■親族間で、家族葬にするか、墓・納骨堂にするか等で予想外にもめた ■喪主に精神的な持病があり、様々困った
火葬場のアクセス	2	■火葬場のアクセスが悪い（駐車場が狭い、公共交通が少ない）
その他	1	■喪服がなくて慌てた

2) 葬送未経験者／葬送のイメージや、心配していること

テーマ1 葬送の所感 ／葬送未経験者の「葬送の心配ごと」

「わからないことが多くて、準備をどのようにすればよいのか不安」が多い
一方で、終活を行っている方は「不安はない」

< 葬送未経験者の「葬送の心配ごと」／総まとめ（15件） >

分類	件	主な意見（要旨）
わからないことが多くて不安	11	■わからないことが多く、どこから準備したらよいか ■急な出来事だと、あわてると思う ■費用が心配 ■納骨の納め先や費用の不安 ■単身で亡くなること、単身の葬送の準備
不安はない	1	■単身だが、NPO 団体に相談し、葬儀社等と内容を決めている
親族との関係	1	■交流のない親族への相談、意見の違いでもめること
持続可能な葬送	1	■団塊ジュニア世代の自分が無事葬送されるか心配
その他	1	■家族葬が増え、参列してよいのか悩む

(2) 火葬場の施設・設備・サービス

全 83 件の意見が寄せられ、火葬場の混雑に関わる意見が約 6 割を占めた。

テーマ 2 火葬場の施設・設備・サービス / 改善してほしいこと

- 1) 火葬の待機時間をくつろいで過ごせるよう、ロビー・特別控室を工夫する
- 2) 混雑解消のため、火葬時間の短縮方法の検討や動線を整理する
- 3) サービス向上・バリアフリー化・DX 化を推進する など

< 火葬場施設や設備・サービスの改善／総まとめ (83 件) >

分類	件	主な意見 (要旨)
くつろげる場所を増やす	30	■ 小さな特別控室を増やし、使用料を設定する (12) ・部屋を小さくして料金を下げる (例/1 万円くらい) ・大 30 室、小 10 室くらい設ける ・小さな部屋で家族葬も可能にする ■ ロビーを広くし、座れる場所を増やす (8) ■ 特別控室やロビーを間仕切り等で個室にし、使用料を設定 ■ 特別控室を洋室にして、椅子やソファを設置する ■ カフェを設置する、安価な飲み物を用意する ■ 安全な遊具のある子どもの遊び場を設ける
混雑の解消	17	■ 火葬時間を短縮する (12) ・新しい技術の導入 ・火葬炉や冷却の場所を増やす ・収骨室を増やす ・収骨時間を短縮する (全て収骨しなくてもよい可能性もある) ■ 動線を整える (5) ・入口から出口まで一方通行にする ・控室から収骨室の動線を整えて移動しやすくする
バリアフリー・ユニバーサルデザインの充実	10	■ 車椅子でも過ごしやすい場所にする ■ エレベーターを設置する ■ 階段をスロープにする ■ なるべくフラットな床面にする ■ 手すりを増やす
今のままでよい 新設は不要	6	■ 現在もきれいで広く、よくできている。不便は感じない ■ 人口減社会の元では新設不要、余計な費用はかけなくてよい ■ 新築の候補場所はあるのか、地域に受け入れられるのか
DX 化を進める	5	■ PC ポートやフリーWi-Fi を設置する ■ 火葬の残り時間や待機人数を表示できるようにする ■ 斎場にキャッシュレス決済を導入する
火葬場、斎場施設を 一体化する	5	■ 火葬場・葬儀場を一体化し、移動時間や時間のロスを軽減
遺族によりそう	4	■ 収骨の骨箸 ・食事用の箸に見える ・トング状など収骨しやすい形状へ ■ 葬儀場に音楽を流す ■ 午後最後の火葬は取り残されたようになり、さみしかった
トイレの改修	4	■ トイレを広くしてほしい、墓地は水洗にしてほしい
その他	2	■ 現在のニーズに合わせる ■ 特になし

(3) 火葬費受益者負担の導入

全 63 件のうち「受益者負担に賛成」する意見は約 8 割の 50 件、「現状のまま市民負担無料を継続」とする意見は 13 件寄せられた。

1) 受益者負担に賛成した方の「火葬料の金額イメージ」

テーマ3 火葬費受益者負担の導入／金額のイメージ

0 円～ 5 万円までイメージはさまざま
合葬墓使用料を火葬料に含む、全国一律料金などの意見もあり

< 金額のイメージ／総まとめ (50 件) >

分類	件	分類	件
5 千～ 1 万円位	19	1 万円前後	9
		5 千円	5
		5 千円～ 1 万円	1
		0 ～ 5 千円	1
		0 ～ 5 千円 (市内) / 1 万 5 千円 (市外)	1
		5 千円 (市内) / 6 万円 (市外)	1
		数千円、5 百円 (非課税者)	1
1 万～ 2 万円位	11	2 万円	3
		1 万～ 2 万円	4
		1 万 5 千円	1
		1 万～ 1 万 5 千円	2
		1 万 2 千円 (市民) / 3 万円 (市外)	1
2 万～ 5 万円位	5	5 万円	1
		3 万～ 4 万円	1
		2 万～ 4 万円	1
		3 万円	1
		2 万円 (市民) / 4 万円 (市外)	1
金額 は不明	10	■受益者負担はやむをえない、必要だ ■特別控室の使用料を安くする ■他市町村を参考に金額を設定する ■市外利用者の負担を増やす ■収入別、控除・減免を設ける ■経費に見合う、高額過ぎない金額 ■合葬墓使用料を火葬料に含む ■全国で使用料を一律にする	

2) 受益者負担に反対した方の理由

テーマ3 火葬費受益者負担の導入／反対の理由

- 1) 増税、物価高が続いており、年金生活者には大きい金額になりそうだから
- 2) 生死に関わることは行政サービスを手厚くしてほしい
- 3) 他の改善策、予算や経費を見直した後に導入を検討すべき など

< 受益者負担に反対の理由／意見のまとめ (13 件) >

分類	件	主な意見 (要旨)
現状を維持	4	■ 市民には無料、負担なしを継続する
物価高騰のなかでは厳しい	4	■ 年金生活者には、厳しい金額になる ■ 葬送全体にお金が掛かるので、厳しい ■ 物価高で何でも値上げになるのはつらい ■ 増税もあるので、違う方法を考えてほしい
生死に関わることは行政で	2	■ 市民の最期の喜び ■ 生まれるとき、死ぬときは公共で支えてほしい
他の運営改善策の検討	1	■ 運営の中で、改善余地がないか見直してほしい
施設一体化と民間委託で 経費削減	1	■ 火葬場と葬儀場、墓地を一体化して、民間企業と運営する

3) 受益者負担導入に関する意見・アイデア

賛成（火葬費有料）している人の意見・アイデア

- 1) 有料にする場合も、収入に応じた価格設定・減免・控除を設ける
- 2) 燃料費や今後の修繕費を考えると、受益者負担が必要
- 3) かかる経費を明確にし、必要で適正な料金を設定する
- 4) 特別控室や合葬墓の料金等のセット価格や、割引・特典等をつける など

反対（火葬費無料継続）している人の意見・アイデア

- 1) 経費の明確化、コストカット、予算充当など、改善策を検討する
- 2) 特別控室の利用率向上、使用料値上げ など

< 受益者負担へのアイデア等／意見のまとめ（50 件） >

分類		件	主な意見（要旨）
有料にする （43 件）	収入に応じた使用料、 控除・減免制度の設 置	11	■収入に応じた価格設定や、減免や控除の仕組みを設ける
	受益者負担は必要、 やむを得ない	9	■受益者負担は当然、やむを得ない ■燃料代は必須だと思う。最低でも 5 千円はかかるのでは ■火葬料が無料とは知らなかった ■多死社会を迎えるなか、修繕費・運営改善のためには必要
	経費に見合う、高額 過ぎない金額を設定す る	9	■葬送が安心して可能となり、職員生活が安定する金額で対応 ■修繕のための費用であることを周知する ■火葬場ごとにかかる経費で使用料を定める ■地価や物価のスライド制で金額を決める ■修繕のためには 3 ～ 5 万円もあり得るか ■他市町村を参考にして設定する
	特別控室の使用料を 下げる、火葬料に含む	9	■特別控室の使用料込みの使用料設定にする ■特別控室の料金を下げる(例／1 万円くらい) ■特別控室を小分けにして、使用料を下げる（例／小控室が 5 千 ～ 1 万円、中控室が 1 万～ 2 万円くらい）
	その他の使用料等の アイデア	4	■火葬料に市の合葬墓の使用料を含む ■日程や天候、混雑時期で変動させる（例/飛行機やホテル） ■市民の葬送積立制度を設ける（例/葬儀社） ■使用料は全国一律。旅行先で最期を迎えたら有料になる
	その他	1	■施設管理の一部を就労支援事業所等に委託する
無料を継続 （7 件）	運営の改善を検討	4	■札幌市の予算で、葬送に関する予算を再検討する ■運営面を明らかにして、改善策を検討する ■繰り上げ法要を簡素化（予約システムや建物工夫）し経費軽 減 ■高齢者保険料や市の「葬祭費」を火葬料金に充当する
	特別控室の利用を 促進する	2	■特別控室を利用したくなる工夫をする （例/利用料の見直し、斎場内商品券の進呈等）
	特別控室の使用料等 を上げる	1	■特別控室や軽食の料金を少し上げる

(4) 火葬場混雑の軽減

現在、他市町村での実施が始まっている「友引火葬・葬儀」と「早朝・午後の火葬実施」について意見をうかがった。

1) 友引葬送の実施

意見総数は 50 件。そのうち賛成は 49 件（約 9 割）、反対は 3 件（約 1 割）であった。具体的な意見は 24 件寄せられた。

テーマ 4 ①火葬場混雑の軽減／友引葬送の実施

- 1) 火葬炉のメンテナンスに配慮しながら、実施するほうがよい
- 2) 自身は気にしないが、親族参列者の反応が気になり。「友引」の意味の周知が必要
- 3) 友引割引を導入し、風習になれるまで周知する など

< 友引葬送の実施／意見のまとめ（24 件） >

	分類	件	主な意見（要旨）
賛成 （21 件）	火葬炉のメンテナンスに配慮して実施	5	■ 火葬炉のメンテナンスをいつ行うのか心配 ■ 友引休場をローテーションにし、休場日に火葬炉をメンテナンスする ■ 友引は午前中のみにし、メンテナンス等を実施
	友引葬儀に抵抗なし	5	■ 友引でも大安でも実施。風習は変えられる ■ 混雑の解消が最優先
	友引の意味を周知する	5	■ 友引葬儀に悪い意味がないことを周知する ■ 抵抗はあるが、周知されれば賛成 ■ 葬送関係者との意見交換も必要
	親戚や参列者の反応が気になり	3	■ 自分は気にしないが、親戚や参列者がどう思うか不安
	友引割引を設定して実施・周知する	3	■ 友引割引を実施して、利用を促進する
反対 （3 件）	休場日を継続	3	■ 友引は休場する方がよい ■ 友引はメンテナンスや職員定休のため必要ではないか

2) 早朝・午後の葬送実施

寄せられた意見は 44 件。賛成は 40 件（約 9 割）、反対は 3 件となった。全 44 件のうち、具体的なアイデア等は 40 件寄せられた。

テーマ 4②火葬場混雑の軽減／早朝午後葬送の実施

- 1) 早朝・午後葬送を実施する。火葬の混雑解消が優先
 - 2) 友引火葬を実施して、状況が改善しなければ、早朝・午後葬送を考える
 - 3) 繰り上げ法要が課題になる
- など

< 早朝・午後葬送の実施／意見のまとめ（40） >

分類		件	主な意見（要旨）
賛成 (36)	早朝・午後の火葬を実施する	26	■ 午前火葬にこだわらず、早朝午後にも実施（10） ■ 葬儀場・お寺等の都合が大丈夫なら実施（4） ■ 料金割引で利用推進 ■ 混雑解消のほうが優先事項 ■ 早朝～16 時くらいまで。夜の火葬は避けたい ■ 繰り上げ法要を変える（例）夕方、他日、簡素化、やらない ■ 周りの反応が心配 ■ 一体型施設で行うとより効果的
	午後の火葬を実施する	10	■ 午後のみ実施。早朝は交通アクセスが厳しい。（7） ■ 料金割引で利用促進（午後割引など） ■ 繰り上げ法要が夜になり、参列者の負担になりそう
反対 (4)	繰り上げ法要のため、早朝・午後 は難しい	2	■ 繰り上げ法要を行うためには、やむを得ない
	友引葬儀の実施 後に検討	1	■ 先に友引開場を実施。不足するなら時間延長を導入（
	その他	1	■ 繰り上げ法要を実施していたかどうか記憶がない

3) 友引や早朝午後葬送に関するアイデア・意見

具体的なアイデアについては22件寄せられた。

テーマ4 ③火葬場混雑の軽減 ①友引葬送や②早朝午後葬送のアイデア

- 1) 葬送のあり方を、市民・行政・葬送関係者の協働で見直し、周知する
- 2) 予約システムで、時間帯・日程割引や混雑時割増等のインセンティブで利用促進
- 3) 火葬場以外でも待機可能にする仕組みづくり など

< 友引や早朝・午後の葬送／意見のまとめ（22件） >

分類	件	主な意見（要旨）
葬送の慣習を見直す	11	■意識変化を促す周知が必要（5） ■遺族の意向が重要。私たちは受け入れる ■葬儀・宗教関係者と意見交換、協力を得て早く進める ■繰り上げ法要を変えることが難しいと思う ■自分の火葬を友引・早朝・夕方にするよう家族に頼んでおく
時間帯割引・割増等の導入	4	■予約システムを活用、時間帯や友引割引・混雑時割増料金を設定する ■利用特典や、葬儀実施回数の多い方への割引を検討する
早朝・午後の実施	3	■8時45分～16時くらいまで。早朝や冬の夜間の葬送は厳しい ■24時間体制。時間や日時を気にしなくて良くなる
予約システムの活用	2	■予約システムを活かし、他の場所で待つことをできるようにする。 ■予約システムは、365日24時間利用可能にしてほしい。
その他	2	■病院で死亡直後、安置所で待機するのが悲しいし疲れた。韓国で葬儀場と病院を一体化している例を見て、一理あると思った ■友引火葬を実施している自治体に、状況を聞いてみる（メンテナンスや職員のお休み等）

(5) 墓地等所感とこれからの葬送

意見総数は61件。墓地等利用者からの意見は47件（約9割）、未利用者からの意見は14件寄せられた。

1) 【墓地等利用者】墓地等に関する困りごと・不満等

テーマ5 ①墓地等利用者／墓地等に関する困りごと・不満などのポイント

- 1) 所有している墓地が距離的に遠い
- 2) 墓地と駐車場や公共交通等とのアクセスがわるい
- 3) 「満足している」人は自宅と墓地が「近い」か「永代供養」
- 4) 墓地等の設備が最低減、雰囲気が悪い
- 5) 次世代への継承や、将来への運営継続性が不安 など

< 葬送経験者の「葬送の困りごと」／意見のまとめ（47件） >

分類	件	主な意見（要旨）
遠方にある	9	■ 遠方にあり、お参りが大変。将来が不安
アクセスが悪い	8	■ 公共交通機関の利用が不便 ■ 墓地の上の方にあり、上るのが大変 ■ 駐車場がない、少ない ■ 車の使えない山の中にある
満足している	8	■ 近いので、屋内なので、お参りに行きやすい ■ 里塚霊園や平岸霊園は近くて便利がよい ■ 家族にとって、大切なものである ■ 特別な不満はない
管理や雰囲気	6	■ 納骨堂の雰囲気が暗い、一人でのお参りが怖い ■ 墓周辺の手入れが面倒 ■ 墓地に水場やトイレがなく、放置されているように見える ■ カラスが多くて怖い ■ 冬季除雪等の管理が不安
永代供養に満足	3	■ 永代供養なので満足しているが、手続きが面倒なのは不満
墓地継承への不安	3	■ 子世代への引き継ぎが不安 ■ 継承する人がいない
将来の運営管理	2	■ 墓の今後の継続性や地震倒壊などが不安 ■ 民営なので、今後の経営継続性が疑問
その他	7	■ 納骨堂は狭い ■ どのような形でも無縁仏にたくない ■ 合葬墓に家族が入れるようにしてほしい ■ 墓や火葬の環境負荷が心配 ■ 親族の墓がある、直系親族の墓地・納骨堂が複数ある

2) 墓地等未利用者／墓地等への不安・イメージ

テーマ5②墓地等未利用者／墓地等への不安・イメージ

- 1) 墓地は管理や墓じまいが大変そう
- 2) 墓は必要ない、納骨堂などがよい
- 3) 民間施設経営の継続性が不安 など

< 墓地等未利用者「墓地等への不安・イメージ」／意見のまとめ（14件） >

分類	件	主な意見（要旨）
墓は管理が大変	4	■墓地は管理が大変そう（管理や墓じまい費用、メンテナンス、地震に弱い）
墓は必要ない	3	■墓は利用していないし、今後也不需要ない
今後の希望	2	■家の近くがよい ■納骨堂がよい
墓じまいをした	2	■墓じまいをした
民間の継続性が不安	1	■民間施設の金額や経営継続性が不安
その他	2	■とにかく寒いイメージ ■特になし

3) あなたの理想の葬送スタイル

テーマ 5③これからの葬送／理想の葬送イメージ

大きなお墓ではなく、「合葬墓」「樹木葬」「散骨」など、新たな葬送スタイルが望まれており、自然に還る葬送を希望する意見も多かった。期限付きなど親族への負担軽減の声や、墓じまいを望む声があった。

<あなたの理想の葬送スタイル／意見のまとめ>

分類	件	主な意見（要旨）
合葬墓	12	■合葬墓を希望（6） ■合葬墓を増やしてほしい ■アクセスのよい合葬墓がよい ■合葬墓。お墓や散骨と検討中（2） ■料金の高すぎない合葬墓 ■行旅死亡人と合葬墓を区別して新設
樹木葬	10	■樹木葬がよい（8） →理由等／永代供養付、海外のような樹木葬、市民でつくる公園で樹木葬、環境負荷が低いもの、親族に負担になりにくいもの ■樹木葬か合葬墓がよい
散骨	5	■散骨がよい →理由等／墓は地震に弱く民間納骨堂は高額、墓の管理が負担、墓等はペットが入れない、無縁墓減少に向け行政も支援・推進する ■散骨希望、合葬墓とも検討
お墓	5	■夫婦2人の小さなもの ■親族の墓をまとめたい ■親族に継承したいが、難しければ自治体・寺に後をお願いしたい ■自宅に近く、永代供養付き ■ペットも一緒に入れるもの
墓じまい 墓は不要	4	■今後、大きな墓はつくらない方針にするほうがよい ■墓じまい済み、その後を検討中 ■墓は不要 ■墓じまいをしたい
親族負担の軽減	3	■お金をかけない葬送をしたい ■家族に迷惑や負担をかけたくない
その他 新たな葬送へ	7	■WS 事例「期限付きレンタル型墓地」（期限内は個人墓地。30年の期限がすぎると合葬、その後は別の家族が入る）がよい ■なるべく自然に、土に還るような葬送 ■「夫婦でも、お墓は別」など自由な発想 ■遺骨の取扱や処理の考え方を見直す必要があるのでは ■家族のお骨はアクセサリなど小さいもので身につけたい気持ちがある ■市民有志のお骨でダイヤをつくり市に寄付する・・・ぐらい発想を転換
検討中、未検討	2	■悩んでいる最中 ■終活は意識しつつも、まだ考えていない
その他	3	■市営墓地の清掃料も管理料と合わせて一括支払にする ■樹木葬や散骨もよいが、墓参の文化は大切にしたい ■札幌市と他市町村で墓所の違いはあるのか

(6) 無縁墓への対応策

意見総数は 56 件。ほぼ全ての意見で積極的な対応が望まれていた。

1) 無縁墓を増やさないアイデア

テーマ 6①無縁墓への対応策／無縁墓を増やさないアイデア

- 1) 墓地に利用期限を定め、定期的に契約を更新する
- 2) 公告から一定期間過ぎた無縁墓は撤去や合葬を可能にする
- 3) 墓じまいをうながす（補助金、講習、手続きの簡素化など）
- 4) 墓守がいることを、申込条件とし、定期的に存在を確認する
- 5) 散骨、樹木葬、バーチャル墓などの新しい葬送を増やす など

< 無縁墓を増やさないアイデア／意見のまとめ (56 件) >

分類	件	主な意見（要旨）
墓地に利用期限を設ける	13	■利用期限を決め、定期的に契約更新する（12） （例/約 20 年、約 10 年、約 20～50 年、期限前後に墓じまい講習） ■年金生活者には申込時の管理料一括納入が厳しい。有期限で年 1 万円位支払い、墓守確認も併せる
無縁墓の撤去・合葬を可能にする	13	■墓地も期限を過ぎたら合葬や撤去を可能にする（9）（例/10 年等） ■データ活用し調査、墓地利用状況までわかるお悔やみ窓口の設置（4） （住所変更、戸籍、マイナンバーカード、死亡届等の一元管理）
墓じまいを促す機会を増やす	12	■補助金を設ける（10） （例/30 万円前後、3 分の 2 助成、30 年経過後国から 30 万円） ■検討機会を増やす ■手続きを簡単にする
墓守の確認をする	12	■墓守を定期的に名簿等で確認（例/10 年、5 年、3 年、1 年）（10） ■墓地の申込み条件に墓守を加える ■事務所で墓参者を確認
新たな葬送を促進する	7	■樹木葬や合葬墓、散骨、バーチャル墓など新たな葬送を増やす（6） ■墓以外の新たな葬送を行ったら、補助金で助成する（1）
その他	2	■寺院の合葬墓（無縁仏）と連携できないか（1） ■必要な使用料や清掃料は徴収する（1）

2) 無縁墓跡地の活用アイデア

テーマ 6②／無縁墓跡地の活用アイデア

- 1) 新しい墓地区画として整備して、販売する
- 2) 合葬墓を増やす
- 3) 公園や緑地など自然のある人の集う場所として活用する など

< 無縁墓跡地の活用アイデア／意見のまとめ（30 件） >

分類	件	主な意見（要旨）
新しい 墓地区画にする	12	■ 墓地区画販売（民間相場を反映）、墓地使用者を募集（10） ■ 自由な墓地を認めず、市有地として規格墓地のみ造成 ■ 旧設墓地などを徐々に移設・集積する
合葬墓を 設置する	7	■ 合葬墓を新設、増設する（5） ■ 合葬墓をつくり、無縁墓を納める
公園など 人の集う場にする	7	公園など、公共施設として活用する
緑化、植栽する	3	樹木を植える、花壇として活用する
再利用は困難	1	墓所区画の再利用は難しいと思う

(7) あなたの終活状況と終活促進アイデア

1) 終活実施状況

意見総数は 52 件。そのうち「終活実施中・実施済」は 34 件（約 7 割）、「終活未実施」は 18 件（約 3 割）寄せられた。

テーマ 7①「終活実施者」の状況

- 1) 終活を進めている（エンディングノート／身の回りの整理・・・）
- 2) 終活に関する情報収集をしている（セミナー・WS 参加、団体加入等） など

テーマ 7②「終活未実施者」の状況

- 1) 気にしているが、手つかず
- 2) このワークショップをきっかけに、終活を具体的に始めたい など

< 終活実施状況／意見のまとめ（52 件） >

分類		件	主な意見（要旨）
終活している (34)	終活を進めている	19	■身の回りのものを整理している（6） ■葬儀や墓等を決めて、親族と共有済み ■エンディングノートを作成済み ・年 1 回ノートを更新、「葬送を考える会」入会中 ■葬儀や墓等について、口頭で親族と共有済み ■手続きが必要なものを整理済（預貯金・保険・クルマ、PC アカウント等） ■終活を終え、遺言状を作成した。 ■終活カウンセラー資格を取得、生前整理対応に取り組んでいる
	WS・セミナー・見学会等に参加	8	■ワークショップやセミナーなどに参加している（6） ■墓地等の下見をしている ■「葬送を考える会」に入会、情報収集をしている
	少しずつ始めている	5	■少しずつ、自分なりに終活を進めている（4） ■親が終活中。親が元気なうちに一緒に考えるところ（1）
していない (18)	介護が必要なときの準備をしている	2	■介護等の保険を掛けている（1） ■入居可能なサ高住を探している（1）
	終活は何もしていない	13	■全くしていない、具体的に取り組んでいない、考えていない、そのうち人任せになりそう 等
	終活を始めたい	5	■この WS を機に始めたい（例/するべき順番を整理、子どもと話し合う、父母が元気なうちに話しあう）

2) 終活を促進するためのアイデア

意見総数は38件寄せられた。「終活への行政や専門家によるサポート」とともに、「葬送＝縁起が悪いではなく、ライフイベントとして捉える意識の変容が重要」とする意見が寄せられた。

< 終活を促進するためのアイデア／意見のまとめ (38件) >

終活を促進するためのアイデア

- 1) 行政・民間・地域の終活支援を受けて、自ら取り組む環境をつくる
- 2) 終活は「ライフイベントの一つ」として、日常から考えるものとして意識を変えていく
- 3) 終活イベントやツアーを定期的実施する
- 4) エンディングノートが葬送準備の第一歩なので、配布・作成機会を増やす など

分類	件	分類	件	意見・アイデア (要旨)
終活への支援を増やす	12	相談窓口の設置	5	■ 終活総合相談センターを各区や大通・札幌駅に設置 ■ 公的機関を利用して、終活サービスを受ける ■ 国や道、市、民間の終活相談室を設ける
		専門家・サービス活用	3	■ 財産処分・葬送費用等、専門家支援を受けやすくする ■ 終活に関する団体、サービスの利用機会を増やす
		その他	4	■ 終活を補助金で助成する（記入済みエンディングノートで1万円等） ■ ものを減らすのは大変。サポートがあるとよい ■ 地域活動等で支え合える仲間をつくることも大切 ■ 介護中に終活はできない。行政のサポートが必要
終活や葬送への意識を変える	10			■ ライフステージの一つとして日頃から話せるよう意識を変えていく (6) ■ 若い世代に向けて、親のことを含めて考えるイベント等を行う (2) ■ 個人の考え方によるもの (1) ■ 自分の死と向き合うのみ (1)
終活を考える機会を増やす	8			■ 終活セミナーやツアーを定期的実施（各区で、チカホで、友引限定バスツアー、終活体験談など） (4) ■ 「広報さっぽろ」で定期的に特集する (3) ■ 葬儀場のカタログを取り寄せたり、見学に行ったりする (1)
エンディングノートを手しやすく	6			■ エンディングノートがあると終活を始めやすい、市役所等で配布する (4) ■ エンディングノートをもらったけれど、まだ未記入 (2)
その他	2			■ よいアイデアを私が聞きたい (1) ■ 支払い名義変更・アカウント葬送も検討が必要 (1)

5. 葬送ワークショップのアンケート結果

(1) 調査実施概要

1) 調査項目

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1) ワークショップへの参加理由 | 2) 参加した感想や満足度と理由 |
| 3) 友引葬送の受容度 | 4) 自身の火葬希望時間帯 |
| 5) 火葬料金の金額イメージ | 6) 市営霊園の管理費用についての今後の方向性 |
| 7) 自由回答 | ■回答者属性 |

2) 調査方法

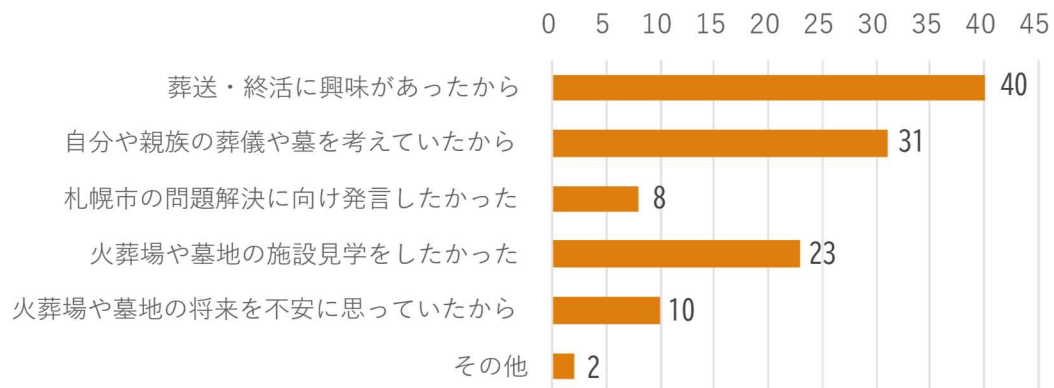
- ・会場において当日配布・当日回収

3) アンケート調査表

葬送 ワークショップ 参加者アンケート	
ご参加ありがとうございました。アンケートへの協力もお願いいたします	
葬送ワークショップについておうかがいします	
Q1. 葬送ワークショップに参加した理由を教えてください。 (あてはまるものを全てに○)	
☐ 葬送や終活に興味があったから ☐ 自分や親族の葬儀や墓のことを考えていたから ☐ 札幌市が抱える問題の解決に向けて、意見を言いたかったから ☐ 火葬場や墓地の施設見学をしたかったから ☐ 火葬場や墓地の将来について不安に思っていたから ☐ その他 ()	
Q2. 葬送ワークショップに参加してみた感想を教えてください。	
(1) 葬送ワークショップに参加してよかった。(○は一つだけ)	
☐ そう思う ☐ おおむねそう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない 評価の理由を教えてください	
(2) 意見交換の内容に満足した。(○は一つだけ)	
☐ そう思う ☐ おおむねそう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない 評価の理由を教えてください	
(3) 火葬場・墓地の現地見学の内容に満足した。(○は一つだけ)	
☐ そう思う ☐ おおむねそう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない 評価の理由を教えてください	
「葬送」についておうかがいします	
Q3. あなたは友引日に火葬をすることについてどのように感じますか。(○は一つだけ)	
☐ 抵抗がある ☐ やや抵抗がある ☐ 抵抗はない ☐ わからない	
Q4. あなたが火葬を希望する時間帯を教えてください。(○は一つだけ)	
☐ 午前中 ☐ 午後 ☐ いつでも良い	
Q5. 市民の火葬料金について、あなたはどのくらいまでなら負担してもよいと思いますか。 (○は一つだけ) *なお、市民有料の政令指定都市の市民の火葬料金は5千円～2万円です。	
☐ 1万円以内 ☐ 2万円以内 ☐ 3万円以内 ☐ 3万円以上 ☐ 市民以外と同額(現在49,000円) ☐ 0円(無料のままだがよい) ☐ その他 ()	
Q6. あなたは、市営霊園の維持管理費用を今後どうしていくべきと思いますか。 (○は一つだけ)	
☐ 維持管理費用は全額使用者から徴収すべき ☐ 札幌市が全額または一部管理費用を支出すべき ☐ その他 () ☐ わからない	
Q7. 終活する場合に心配なことや、行政への要望等がありましたらご記入ください。	
回答者様についておうかがいします (いずれも○は一つだけ)	
1. 性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他	
2. 年代 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上	
3. 世帯構成 ☐ 一人暮らし ☐ 自身と配偶者 ☐ 自身と配偶者と子ども ☐ 自身と子ども ☐ 自身と親 ☐ 自身と配偶者と親 ☐ 三世代同居 ☐ その他 ()	
いただいた回答は今後の葬送検討に活かしてまいります。ご回答どうもありがとうございました。	

(2) 調査結果

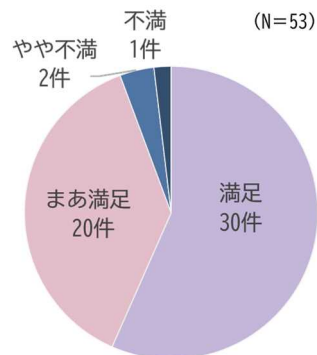
① ワークショップへの参加理由 (N=53、MA)



■ その他の意見

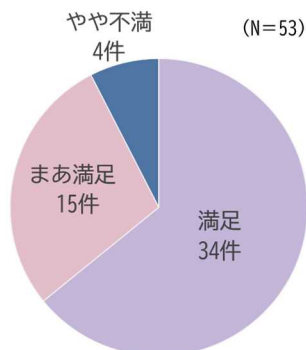
- ・ たまたま参加者募集を見た。
- ・ 自分は既に葬儀屋を決めているので、火葬場を見たかった。

②-1 ワークショップの感想・評価 (SA) / 評価の理由 (FA、n=34)



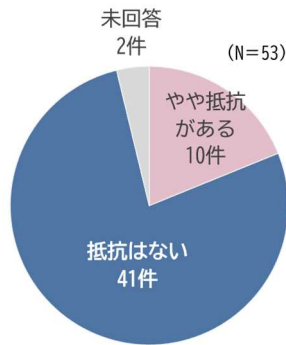
回答内容	理由回答数	分類
満足	17	いろいろな意見が聞けてよかった
		その他
まあ満足	14	いろいろな意見が聞けてよかった
		意見交換できた・時間が足りなかった
		知らないことを学べた
やや不満	2	課題として難しい
不満	1	時間が長く面倒だった

②-2 現地見学の感想・評価 (SA) / 評価の理由 (FA、n=36)

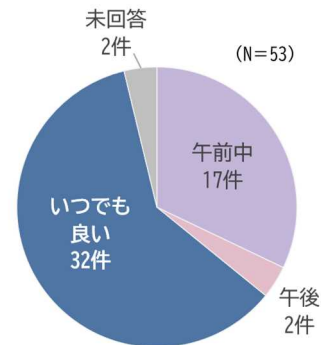


回答内容	理由回答数	分類
満足	23	現状を理解できて有意義だった
		普段見られないところを見学できた
		その他
まあ満足	10	普段見られないところを見学できた
		現状を理解できて有意義だった
		これからも実施してほしい
やや不満	3	普段見られないところを見学できた
		時間が悪い・施設がよく整備されていたので

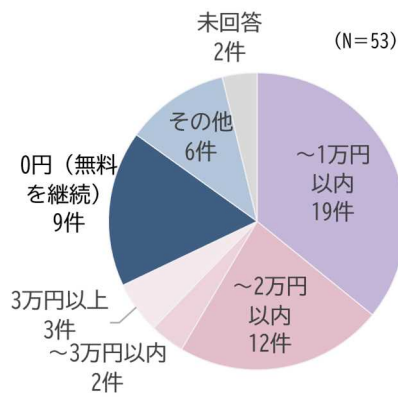
③ 友引葬送の受容度 (SA)



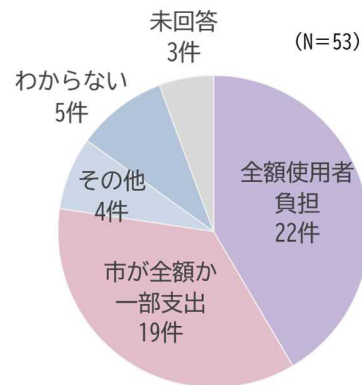
④ 自身の火葬希望時間帯 (SA)



⑤ 火葬料金の金額イメージ (SA)



⑥ 市民霊園の維持管理費の今後 (SA)



⑦ 自由回答のまとめ (n=21、FA)

分類1	件数	分類2	
終活促進アイデア	12	葬送をタブー視せず積極的な取組が必要	3
		ワークショップなどで意見交換をするのが良い	3
		行政による終活サポート(手続説明書・エンディングノート・終活支援窓口)	5
		SNS等積極的な情報発信	1
終活の悩みや不安	8	死後手続き等への不安(単身3、家族あり1)	4
		終活がうまく進まない	2
		個人情報漏出への不安	1
		特になし	1
葬送の課題・アイデア	4	友引火葬の即時実施	1
		火葬時間を幅広く. 葬儀屋も喜ぶ	1
		市民墓の増設	1
		最終的な葬儀場所の管理	1